

## 服装・身だしなみ

# 学校は学びの場です。あるべき姿で！

服装：季節や気温に合わせ、簡素で動きやすく、安全かつ衛生的な服装を心がける。また、学習の場及び儀式にふさわしい服装を心がける。

体育服：学校指定の服装をし、ゴムを付けた赤白ぼうしをかぶる。

- ① 白のシャツ・紺色の伸縮性のあるクォーターパンツ
- ② 水泳のときは黒か紺の水着・水泳帽を着用（海水パンツは禁止）
- ③ 寒い時期の体育では、動きやすい服装であれば上着（フード付きは不可）の着用を認める。 ※体育服の長袖もあります。

※ 体育服での登下校は、特別な行事以外はしない。

給食着：学校用を使用。マスクは、当番以外も全員がつける。

### ぼうしについて

- ◆ 登下校は、赤ぼうし（1年生は黄色いぼうし）をかぶる。

### 下着について

- ◆ 衛生面・防犯面から、必ず下着を着用する。

### 上着について

- ◆ 安全面・防犯面から、余計な飾りがついているものや肌の露出の多いものは着用しない。

### 靴下について

- ◆ ひざより長い靴下やルーズソックス、くるぶしが見えるような短い靴下ははかない。 レッグウォーマーは禁止。

### 登下校の靴について

- ◆ 動きやすく安全性が高い運動靴。厚底・かかとなし・ハイカット・ブーツ・サンダル等ははかない。

### 室内シューズについて

- ◆ 教室用と体育館用を区別する。安全面からなるべくゴム底のシューズをはく。

### 髪の毛について

- ◆ 清潔で自然な髪型を基本とし、パーマ（ストレートパーマ）・染色・整髪剤は禁止。
- ◆ 一部を極端に短く刈り込んだり伸ばしたりするような髪型は禁止する。
- ◆ 髪の毛が目や肩にかかる時は、カットするか飾りなしのゴム（黒・茶・紺が望ましい）で束ねる。ぼうしをかぶれるよう工夫して束ねる。ピンを使用してもよい。

### まゆ毛について

- ◆ いじらない。

### ネームについて

- ◆ 上着の左胸にネームをつける。ネームにシール等を貼らない。

### 不要物について

- ◆ 学校生活に必要なもの以外は、持ってこない。かばんや筆箱等に、不要なものをつけない。どうしても必要なものは、担任に相談すること。

### 防寒着について

- ◆ 特に寒い時期（11月～3月）や体調が悪い時は、登下校の際、ジャンパーやコートなどの防寒着（フード付き可）を着用してもよい。ただし、校内では、風邪などで体調が悪い場合を除き、脱いで授業を受ける。（重ね着を心がける。）登下校時はフードをかぶらないようにする。

### マフラー（ネックウォーマー）・手袋・ひざかけについて

- ◆ 特に寒い時期（11～3月）は、登下校の時だけ、着用する。マフラーは、安全面から上着の中に入れて着用する。ひざかけは教室内で使用する。

### 長ズボン等について

- ◆ 動きやすく安全性が高く飾りなどのついていないものを着用する。（長ズボンの中にストッキングやスパッツ、タイツの着用は可。ただし派手な物は不可）
- ◆ 防寒対策とはならないので、ストッキングや薄手のタイツ等（派手なものも含）の着用や、スパッツやタイツの上にあまりにも丈の短いスカートやズボンの着用などはしない。
- ◆ カイロは持ってこない。（体調などでどうしても必要な場合は、担任の許可をもらい、ポケットからは出さないようにする）

### 装飾品について

- ◆ ミサンガやプロミスリング、ネックレスなどの装飾品をつけない。

### ズボン・スカートについて

- ◆ 防犯面・防寒対策から、丈の短すぎるスカートやズボンは着用しない。 スパッツやタイツを併用しても、短すぎるものは着用しない。
- ◆ 安全面・活動のしやすさから、余計な飾りがついているものや、だぶだぶしたもの、丈の長すぎるものは着用しない。

自分の持ち物や服にはすべて記名をしましょう